

令和6年度 学校評価(自己評価) 飯塚市立幸袋小学校

		内 容	教職員	R5教職員	保護者	R5保護者	課題と改善点	学校関係者評価
学校運営	1	児童が楽しいと感じる学級・学校となっていますか。	3.23	2.96	3.32	3.21	○項目1の教職員・保護者の評価が共に上がったことから、児童が学校生活を楽しいと感じてきている。 ○項目5の評価が昨年度より上がったことから、校内の清掃や整理・整頓が進み学校の教育環境が整ってきている。 ○学校ホームページに子どもたちの学校生活の様子を掲載したり、すぐメールを活用して学校行事を再通知等をしたり、必要な情報提供を行ってきた。今後も新しい校務支援システムに活用して、積極的に家庭への情報提供を行う。 △項目2の評価が昨年度より低くなったことから、来年度は、担任から積極的に家庭連絡を行い、保護者が子どもの心配や悩みを相談しやすい環境づくりに努めていく必要がある。	○児童が楽しいと感じる学級学校になっている。 取り組みの効果が出てきている。 ○黙々掃除など掃除の徹底が進められていることは素晴らしい。 ○保護者や地域との連携は、学校運営の成功に欠かせません。保護者とのコミュニケーションの質や地域社会との協力のあり方が重視されますので、保護者や地域のニーズを把握し、それに対応する仕組みを更に構築してください。
	2	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	3.14	3.35	3.38	3.88		
	3	学校の教育目標が反映できるように、校務分掌組織や運営組織が円滑に機能していますか。	2.90	2.92				
	4	学校は、通学時の安全確保について情報(不審者情報、交通安全等)を提供していると思いますか。	3.33	3.46	3.40	3.26		
	5	学校は、清掃や整理・整頓が行き届き、学習環境を整えていますか。	2.86	2.81	3.46	3.12		
	6	保護者や児童にとって、相談できる学校になっていますか。	3.00	3.04	3.26	3.23		
教科指導	7	先生は、授業を工夫したり、学習指導に力を入れたりしていますか。	3.20	3.19	3.48	3.33	○項目7の評価が昨年度より上がったことから、今年度から導入した学力向上の取り組みが浸透してきている。 △項目11の教職員の評価が3.0以下であることから、来年度も継続して児童の学力実態に応じた授業改善を図り、楽しい授業、分かる授業を実践に努める。 △複数教員が関わり繰り返し学習を行う「幸袋タイム」等、組織的な取組を行った。今後も、児童の学力向上のための有効な取組を講じる。	○学力向上の取り組みを、保護者は高く評価しているので、教師職員も自信を持って今の取り組みを継続してほしい。 ○「幸袋チャレンジ」の効果が出てきていると思いました。 ○教育において、協働学習の重要性が増している中、児童が互いに教えあい学び合うことで、深い理解を得ることができると思います。教師がそのような学習の場を積極的に提供し、協力して問題を解決する力を育ててくださいますようお願いいたします。
	8	児童は、授業中、集中して授業を受けていますか。	2.95	2.96				
	9	計画的な家庭学習の手だてをたてていますか。	3.60	2.92				
	10	教科指導計画や内容について、家庭へのお知らせができていますか。	3.10	2.65				
	11	児童は、学校の取組を通して学力が向上していると思いますか。	2.75	2.81	3.12	2.99		
生徒指導	12	児童は、友だちや先生等へのあいさつはよくできていると思いますか。	2.75	2.38	2.89	2.82	△項目12の評価が3.0以下であることから、自分からからあいさつをしたり、あいさつを返したりする児童が少ないのが課題である。気持ちのよいあいさつが日常的にできるように、教師側から積極的に挨拶を行っていくことが必要である。 △今後も場や相手に応じた正しい言葉遣いや、相手の気持ちを考えた言動をとることができるように、職員が共通した、一貫性のある指導を行っていく。 △評価項目全体で3.0以下が多いことから、今後もルールを守ることやマナーある言動の大切さを全ての教育活動において指導していくことが必要である。 △項目18の保護者評価が3.1以上になり、教職員間で共通した指導が進んできている。今後も、生徒指導における対応の方針や基準を共有し、速やかな対応を行っていく。	○気持ちの良い挨拶や言葉遣いができることは、生活を豊かにする上で大切なことです。今後も学校家庭地域が一体になって頑張りましょう。 ○挨拶は、児童教員の方共に「自分から挨拶」できる人が多いと感じています。評価が低いのは意外でした。 ○児童の生活態度や規律を守るための指導がどれほど効果的に行われているのか、また、学校でのルールやマナーの厳守、時間の管理や責任感を生む活動が重要だと感じています。日常的な指導を通じて児童が規律を守り、自分をコントロールできるように指導してください。
	13	児童は、学校や家庭のきまりを守っていますか。	2.59	2.65	3.14	2.84		
	14	児童は、場や相手に応じて、正しい言葉づかいができていますか。	2.55	2.50	2.81	2.80		
	15	児童は、我慢しなければならない場面で、我慢することができますか。	2.55	2.54	3.02	2.99		
	16	児童は、周りの人のために役立つこと(手伝いをする、意見を言う等)をしていますか。	2.70	2.92	2.99	2.95		
	17	児童は、大変な仕事や難しい勉強も、最後までやり抜くことができますか。	2.40	2.85	2.88	2.78		
18	児童がよりよい学校生活を送るために、どの先生も同じ方針で生徒指導をしていると思いますか。	2.54	3.00	3.12	2.99			
道徳人権教育	19	道徳科の学習は、計画的に実施されていますか。	3.31	3.19			○年間指導計画に沿った道徳科の授業を実施している。今後も、今後も子どもたちが考え、議論をふかめる授業づくりを行い、児童の道徳的実践意欲の向上を図っていく。	○道徳科の学習が計画的に実施され、児童の人権感覚を高める日常の取り組みなされている。 ○いじめに関する意識調査やアンケートなどを活用し、実効性のある対策を講じられ、いじめのない学校にしてほしいです。
	20	道徳の時間に学んだ価値と結び付けた日常指導を行っていますか。	2.95	2.92				
	21	児童の人権尊重の精神を養うことを意識して、日常的教育活動を行っていますか。	3.20	3.04				
特別活動	22	児童会活動や委員会活動は充実していると思いますか。	2.80	2.96			△今年度は、コロナ禍前の活動をほぼ行うことができました。今後も特別活動を充実させ、児童の人間関係形成能力の育成を図っていく。 △委員会活動やクラブ活動など、児童の自治的活動の充実を図っていく。	○運動会での先生方のきびきびした動きがすばらしく児童の目標に向かって精一杯頑張り、メリハリのある行動ができていた。 ○特別活動は、教科の枠を超えた活動であり、児童の社会性、協調性、創造性、リーダーシップなどを育む重要な部分であるとおもいますので、積極的に取り組んでください。
	23	各行事は児童にとって楽しく充実したものになっていると思いますか。	3.05	3.12				
	24	児童の自主的な活動を位置付けた取組ができましたか。	2.89	2.96				
研究	25	校内研修体制は整っていると思いますか。	3.24	3.12			○教師の授業力向上を図るための主体的な研修を充実させていく。 ○特別な支援の必要な児童への教科指導、救命講習、消火栓の使用法等、外部講師を迎えた研修を実施し、教師の実践力の向上に努めている。	○若年教員が増える中、教科指導・生徒指導・学校経営等の実践的研修の時間が、確保される事を期待しています。 ○教師の研究活動は、児童の学力の向上や学校教育全体のレベルの向上に直結する重要な要素であると思います。実践向上のため実のある研究に励んでください。
	26	校内研修は教育目標の達成や教職員の指導力の向上に役立つものになっていますか。	2.90	3.08				
	27	課題意識を持って、校内研修に参加しましたか。	3.25	3.12				
小中一貫・その他	28	9年間を見通した教育を意識して、自分の担当する学年や校務分掌に取り組むことができましたか。	2.81	3.54			○結いの日の活動や中学校音楽科の文化祭での合唱指導、小中が連携した学力向上の取り組み等を実施することができた。取組の成果や課題をまとめ、次年度の取組を推進していく。 ○本年度5回目の緊急時引き渡し訓練では、保護者、児童ともにスムーズな流れで訓練を終えることができた。今後も、児童の安全意識を高めるとともに、教員の防災・救命に関する研修を行っていく。	○小中一貫教育については、小中の教職員が協働して取り組むことができています。 ○通信等を通して保護者への情報提供がきちんとできている。 ○9年間の教育プランは、職員みんなで共有し、その目標が達成できるようにしてください。
	29	小中の教職員がお互いの文化の違いを理解し、協働体制で取り組むことができましたか。	3.00	2.85				
	30	9年間の教育活動プランの重点、目標は達成できましたか。	2.80	2.92				
	31	学級や学校の様子を保護者に対して通信やその他の方法で積極的に知らせましたか。	3.42	3.23				
	32	危機管理意識をもち、児童の安全の確保や人権を守ることを第一に考えて取り組むことができましたか。	3.33	3.31				
家庭で	33	お子さんは、早寝早起きができていますか。			2.88	2.87	△項目33の評価が3.0以下であることから、基本的な生活習慣の定着に課題が見られる。生活がんばりカードの活用、通信等で生活習慣を身に付けることの大切さについて、継続した指導と保護者への啓発を行っていく。また、「学び方」について指導することで、家庭学習の習慣作りを進めていく。 △項目35の評価が2.5以下であることから、時間を守ってメディアを利用することに課題が見られる。子どもがネットメディアに触れる時間が長くなっている現状から、インターネットの適正利用について児童へ指導するとともに、保護者への啓発も行っていく。	○朝食を食べて登校する子供が増えてきたのはよかった。 ○朝食を食べる習慣は大切だと思います。生活リズムが整う取り組みを継続したほうがいいと思います。 △家庭教育の時間とメディアの時間の評価が下がっている。家庭からの更なる働き掛けが必要である。 ○経済的な理由や家庭の課題により、学習や学校生活に困難を思い悩む児童に対して、どのような支援を行っていいのか、新しい発想を持って取り組んでください。
	34	お子さんは、決められた時間(10分×学年+10分)家庭学習をしていますか。			2.66	2.68		
	35	お子さんは、学校や家庭での約束や時間を守って、メディア(PC、スマホ、ゲーム等)を利用していますか。			2.41	2.53		
	36	お子さんは、タブレットを持ち帰ったとき、意欲的に活用していますか。			3.14	2.78		
	37	お子さんは、朝食を食べていますか。			3.79	3.70		